**Webアプリ**

**要件定義書**

株式会社○○

2016/06/01 第１版

改訂履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 版数 | 日付 | 担当者名 | 備考 |
| 1 | 2016/06/01 | 冨原　祐 | 新規作成 |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |
| 4 |  |  |  |
| 5 |  |  |  |
| 6 |  |  |  |
| 7 |  |  |  |

# 概要

以下に、通信販売Webアプリケーション「Shop Sample」（以下、本システム）開発に関する概要を示す。

## システム開発の背景

（システム開発に至った経緯・背景を記載）

（今回は割愛）

## システムの目的

本システムは、研修会社に蓄積されている質問とその回答データを登録と検索することができることを目的とする。研修会社では研修生の質問とその回答が築盛されているにもかかわらず、管理されていないことで他の研修生や次年度の研修生に共有できていない現状にある。そのため、この点を解決することができるシステムを構築することとする。

　さらに、このシステムを構築することにより、いままで蓄積だけされてきたデータを登録することで管理することができ、研修生が検索することができる。

## システムの全体像、開発方針

本システムは、Webサーバ１台とデータベースサーバ１台で構成される。

システム開発はJavaをベースとする。その他、jQueryを利用してユーザフレンドリーな操作性を提供する。

# システム要件

以下に、本システムの要件を示す。

## 機能要件

### 機能の概要

　（システム全体の機能概要を記載）

　　・メニュー機能

　　　メニュー機能は事務局と研修生が利用できる。

　　　事務局はメニューページから登録ページに遷移できる。

　　　研修生はメニューページから検索ページに遷移できる。

　　・登録機能

　　　登録機能は事務局側が質問と質問に対する回答を登録する機能である。

　　　基本的な流れは、事務局側が質問と回答をフォーマットに入力した状態で登録する。登録際に分類できる情報を入力する。

　　・ログイン機能

　　　ログイン機能は事務局だけがデータを登録できるようにする機能である。

　　・検索機能

　　　検索機能は研修生側が質問を検索できる機能である。

　　　基本的な流れは、キーワード検索とWord検索で検索できる。

　　　キーワード検索では登録した際に入力した分類情報を元に検索することが可能である。

　　　Word検索では検索した際に入力した単語を含まれる全てを検索できる。

　　・結果表示機能

　　　研修生が入力した項目に合わせた結果を表示する機能である。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大項目 | 機能名 | 備考 |
| メニュー機能 | メニュー | 登録ページと検索ページに遷移することが可能 |
| 登録機能 | 編集 | 質問と回答並びにそれを分類するための情報を登録・更新・削除できる |
| ログイン機能 | ログイン・ログアウト | 事務局の人がログイン・ログアウトできる |
| 検索機能 | キーワード検索 | プルダウンメニューでカテゴリー選択して検索できる |
|  | Word検索 | 自分の検索したい単語を入力すると検索できる |
| 結果表示機能 | 閲覧数表示 | 過去に閲覧した回数を表示する |
|  | 検索結果表示 | キーワード検索やword検索でヒットした結果を出力する |

### メニュー機能

（個々の機能について記載）

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | メニュー機能 |
| 概要 | 登録ページと検索ページに遷移することが可能 |
| 処理内容 | 登録ページと検索ページへ遷移できるリンクを表示する。 |
| 想定利用者 | 研修生、事務局 |
| 備考 | 独立したページで存在する。 |

### 編集機能

（個々の機能について記載）

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 編集機能 |
| 概要 | 研修生の質問内容と講師の回答をセットで登録し、必要に合わせて更新と削除可能 |
| 処理内容 | 「登録者」「質問した日時」「回答者」「単元」「単元項目」「質問内容」「回答内容」の各項目で入力されたデータを登録・更新・削除する。単元、単元項目は事務局がカテゴリーを指定可能である。  登録日時のソート順はキー設定可能。 |
| 想定利用者 | 事務局 |
| 備考 | 単元や単元項目のカテゴリー分けは外部設計で決定する。日時の表示順については外部設計で決定する。 |

### ④　ログイン機能

（個々の機能について記載）

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | ログイン機能  ※登録ページを選択したときに要求する |
| 概要 | ユーザ登録（ユーザ＝運営局。ユーザ登録＝運営局のTERACOへのIDとPASS）しているユーザがログインできる |
| 処理内容 | IDとパスワードを入力するテキストフィールドが表示される。ログインに成功すると、質問と回答の登録ができる。ログインに失敗するとエラーが表示される。（ログインチャレンジ回数は5回） |
| 想定利用者 | 事務局 |
| 備考 | ログアウト機能はログアウトするとログイン画面に戻る |

### ⑤　キーワード検索機能

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | キーワード検索機能 |
| 概要 | 研修生が質問をキーワードで検索できるもの |
| 処理内容 | これまでに蓄積された質問と回答の中から、検索したキーワードと一致するものを取得する。  取得後、「登録者」「質問した日時」「回答者」「単元」「単元項目」「質問内容」「回答内容」を表示する。  キーワードは、登録者（研修の事務局）がカテゴリー指定可能である。  取得した質問の表示は日時・閲覧数順で選択可能である。 |
| 想定利用者 | 研修生 |
| 備考 | どのようなキーワードにするのかは、外部設計で決定する。また、キーワードの変更や追加に関しては、エンジニアが手作業で対応することとする。 |

⑥Word検索機能

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | Word検索機能 |
| 概要 | 研修生が質問をワード検索できるもの |
| 処理内容 | これまでに蓄積された質問内容と回答から、検索したワードと一致するものを取得する。  取得後、「登録者」「質問した日時」「回答者」「単元」「単元項目」「質問内容」「回答内容」を表示する。  テキストボックスに含むすべての検索ワードで検索できる。  取得した質問の表示は日時・閲覧数順で選択可能である。 |
| 想定利用者 | 研修生 |
| 備考 | 大文字、小文字を区別せずに検索できる。  AND、ORで複数検索が可能である。 |

⑦閲覧数履歴表示

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 閲覧数履歴表示 |
| 概要 | 研修生が閲覧されているものを表示する |
| 処理内容 | 検索履歴の表示回数によって表示する質問の順番を変える(降順)。　ここでは、閲覧数は検索履歴で表示されたものを閲覧回数とする。また、一覧ページはなしで、検索したときのみに質問を表示する。 サーバ全体の閲覧数をカウントし、閲覧数が多いものを 「最近よく見られている質問」とし、表示する。 |
| 想定利用者 | 研修生、事務局 |
| 備考 | 「最近よく見られている質問」を把握することで、研修生の困っている質問に対し、優先順位をつけて回答することができる(講師・事務局)。研修生は、悩みを抱えている人数を把握できる。また、よく見られている質問を共有でき、不安を減少する働きもある。  最近よく見られている質問の表示数をいくつまでにするかは外部設計で決定する。 |

### ⑧検索結果機能

（個々の機能について記載）

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 検索結果機能 |
| 概要 | キーワード検索・Word検索を行った結果を表示する。 |
| 処理内容 | キーワード検索・Word検索によって得られた結果を取得し、質問を表示する。  さらに検索の結果、表示された質問の中で、研修生自身が確認したい回答があった場合、その質問をクリックすると、質問・回答を閲覧するページを見ることができ、閲覧できる。 |
| 想定利用者 | 研修生 |
| 備考 | 質問・回答を閲覧するページには、閲覧数が表示されている。 |